

・数々の受賞続く バンザイ！

4月に浦添市市民憲章実践者として美らまち通り隊長の平田清喜さん（F36）が表彰を受けました。7月には市のまちづくり夢応援プラン賞への応募が採用され50万円余りの補助金を得ることができました。並行して、長きにわたる要請を続けてきた1号線沿いの散水栓が3基設置されました。続いて、今回の田仲康宏氏（D43）がタイムス地域貢献賞の受賞と途切れなく我が自治会の活動が内外から評価されています。また、県緑化推進委員会の緑の公募事業からも17万円の補助金が決定しております。この、補助金を大切に、評価を汚さぬように頑張っていきましょう。美らまち通り隊が中心となりますが、会員一人一人の協力が最も重要です。



・自治会対抗陸上競技大会
男子初優勝 女子2位 総合2位
平良体育部長の呼びかけで集まった猛者の活躍で念願の男子優勝を果たすことができました。参加及び応援の皆さんの心が一つになり勝利を呼びこみました。来年は優勝だ！



行政区住民登録人口(10月末)

世帯数 676 総人口 1807
自治会加入 406 加入率 60%

定期清掃（第3日曜日）
リサイクル活動（同上）
11月行事

- 1日 文化展
- 3日 寿 Jr.国頭方西海道巡り
- 7日 老人・婦人運動会
- 10日 かりゆしC主催8自治会親睦パークゴルフ
- 17日 要援護者支援会議
- 20日 健全育成市民会議
浦西支部総会
- 22日 評議員会

公民館講座（ティラピス）

11月25日から（毎週水曜日 全4回）講師：永渕悦子

・運動会 10月24日（土） 参加者：200名

正に老若男女が揃って心地よい汗を流しました。孫の応援、子の応援、おじいちゃん、おばあちゃんの応援で体育館は大賑わい。結局、参加人数も多かったD棟が優勝しチームワーク力をアピールしていました。D棟の皆さんおめでとうございます。



・寿 Jr.倶楽部 パークゴルフ in 大里城址 10月10日

当日は、大雨が降り寒く視界も悪くて実施が危ぶまれたものの、男性は風雨の中、強硬実施。女性陣は車内待機。結局終えた後は悪寒がして風邪を引いた方が数名致そうです。南部一周ドライブ後、公民館に戻って弁当を食べて楽しく過ごしました。



・にしる保育園分園建設工事

始まる 10月15日～

自治会駐車場に隣接する、保育園分園の工事が開始されました。建設計画にあたっては、昨夏に自治会で市保育課による説明会や臨時総会を開き、意見をまとめて市と調整をしてきました。特に、安全面については詳細な条件をつけました。今後、約束事が履行されているか、しっかりと見守りたいと考えています。



・草刈機贈呈

現在、定期清掃や公園の草刈に使用する草刈機は自治会で2台保有しています。足りないことが多々あり、困っていましたが、このことを聞きつけた金城英次さん（E26）から贈呈がありました。電子エンジン式とのことで、使い勝手が最高と評判です。ありがとうございました。



・文化祭 展示の部 語ら島くとうば 国際交流会

2日間にわたり開催された文化祭では会員の沢山の力作が展示されました。来場者は感嘆の声をあげ地域力を称えていました。島くとうばの継承及びグローバルな人材育成も狙った催しも盛り上がりしました。出展者の皆様ありがとうございました。さあ、来年のために創作を始めよう！



国際交流会



・タイムス地域貢献賞（D43 田仲康宏氏受賞）

既報の通り田仲氏が受賞し、贈呈式・祝賀会が10月17日（土）パシフィックホテルで執り行われました。当日は自治会会員、親戚が駆けつけ盛大にお祝いしました。また、公民館でも会員による祝賀会が急遽設定され、皆で喜びを分かち合いました。田仲さんはこれまで同様に美らまち通り隊の一員として浦西1号線をはじめ自治会内の美化活動に尽くしますと決意を新たにしています。なお、田仲さんから、自治会へ3万円、通り隊へ2万円の寄付をいただきました。



・懐かしい歌声教室 10月23日（金）

中央公民館出前講座の「懐かしの歌声教室」がありました。懐かしい「うたごえ喫茶」を思い出しながら、エレクトーンの伴奏に合わせて楽しく歌うことができました。指導者の池原先生のリードでラジオ体操、口、舌の運動で調子を整えた後に発声練習から歌いだしました。いつもより上手く歌えたと皆さん大満足。男性6名、女性20名で俄か混成合唱団の仕上りとなり「歌声サークル」復活なるか？期待！



・世界の秘境・ヒマール〜 No.15 浦西団地の皆さん・・・ナマスカール

以前にも紹介したと思いますが、ネパールの8割の人口がヒンドゥ教です。そのヒンドゥ教の最も大きな祭りが今年の10月13日から始まった「ダサイン」という祭りです。13日から始まり20日から官庁は10日間の休暇に入ります。学校は1ヶ月間の休暇にはいるそうです。ダサインが終わると2週間後には「ティハール」と言うお祭りがあり、単身赴任の職員は1ヶ月間の休暇をとります。遊び好きなネパール人にとって9月下旬頃からはダサイン祭りのことでそわそわし、仕事も熱が入りません。

ダサイン祭りで妙なことに気づきました。市場に行くと、なんとサトウキビと葉付きショウガが売られていました（写真1）。驚きました。沖縄のお盆に供える風習と全く同じです。サトウキビはネパールの南（タライと呼ばれています）で栽培され、ショウガはカトマンズ近郊でも栽培が盛んです。エイサーの踊り型、お祭りの供え物はそのルーツを訪ねればネパールかも・・・不思議ですね・・・

ダサインが始まって10日目（10月23日）は二ワトリや山羊を食べます。特に山羊は高級肉として値段は高いです。1頭が1万ルピー前後（日本円で1万2千円）で売られています。ネパールの公務員の給与が平均して1万7千ルピーですので、いかに山羊の値段が高いか理解できると思います。山羊は沖縄のようにスーブではなく、煮込んで香辛料をたっぷり入れて食べ、山羊特有の臭いがありありません。ヤギ汁の好きな私には物足りなさを感じます。

子供達にとって1ヶ月間の休暇は楽しいもので、ダサインが始まるとあちらこちらで凧揚げが見られ、日本の正月のような風景です。それから、大きな竹で作ったブランコです（写真2）。

4本の大きな竹（とにかく大きいです）で上の方で結び、直ぐ下に2m程度の板を結び、それに太いロープでブランコを作ります。子供達は大きく振りながらブランコを楽しんでいます。時たま、大人達も楽しんでいることもあります。ダサインが終わるとティハールという祭りがすぐ来ます。祭り・祭り・・・なんと遊び好きなネパール人。先進国とはなんぞや？と思う昨今です。

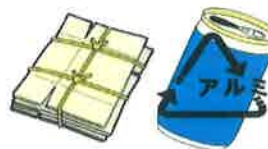


＊リサイクル収益金

10月末実績
195,342円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。
＊アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。



猫の糞害に憤慨

責任をもって猫の世話をしましょう
去勢・不妊手術をしましょう



・野良猫にエサを与えているあなたへ！

その気持ちは分かります。しかし、エサのたくさんある所に猫達は集まり、子猫が生まれてしまったり、エサ場を汚してしまったりして近所の人たちに迷惑をかけ、人にとっても猫にとっても不幸なことになります。自分はエサを与えているだけで飼っているわけではないという責任は通用しません。エサを与えているあなたが愛情と同じ責任を持って猫達に接して下さい。